

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 11 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 23 年 3 月 6 日（日）15:00～17:00
2. 場 所：熊本大学工学部社会環境工学科 会議室
3. 出席者：横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，斉藤幹事，島幹事，田中幹事，西崎幹事，山口幹事，渡辺幹事，竹原事務局
（欠席者：武知幹事，本間幹事，溝江幹事）

4. 配布資料

- 資料 幹 11-1 第 10 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹 11-2 第 4 回複合構造委員会議事録（案）
- 資料 幹 11-3 平成 22 年度予算執行状況
- 資料 幹 11-4 重点研究課題申請書
- 資料 幹 11-5-1 複合構造標準示方書の改訂について
- 資料 幹 11-5-2 複合構造標準示方書の改訂に関するメモ
- ~~資料 幹 11-6 全国大会研究討論会企画~~
- 資料 幹 11-7 出版関係報告
- 資料 幹 11-8-0 小委員一覧(2011 年 3 月版)
- ~~資料 幹 11-8-1 H103 複合構造の理論と設計作成小委員会~~
- ~~資料 幹 11-8-2 H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会~~
- ~~資料 幹 11-8-3 H207 樹脂材料による複合技術研究小委員会~~
- ~~資料 幹 11-8-4 H208 FRP 複合構造研究小委員会~~
- ~~資料 幹 11-8-5 H209 FRP によるコンクリート構造の補修設計研究小委員会~~
- ~~資料 幹 11-8-6 H211 FRP と鋼の接合方法に関する調査研究小委員会~~

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり，横田委員長より挨拶があった。

(2) 第 10 回複合構造委員会幹事会議事録の確認（資料 幹 11-1）

池田幹事より，前回幹事会議事録案が読み上げられ，承認された。

(3) 第 4 回複合構造委員会議事録の確認（資料 幹 11-2）

大山幹事より，前回委員会議事録案が読み上げられ，承認された。

(4) 予算の執行実績について（資料 幹 11-3）

古市幹事長より，予算の執行実績について，委員会での書籍の買取や電子化によるコピー代の削減など，無駄のないように有効活用している旨の報告がなされた。主な報告内容は以下のとおり。

- ・予定されている支出分は，3/14 までに事務局に清算依頼をする。

(5) 重点研究課題(提出済み)の確認（資料 幹 11-4）

西崎幹事より，「FRP 複合構造の設計・施工に関する基準の国際展開」について，一部を修正して申請済みの旨の報告があった。主な報告内容は以下のとおり。

- ・研究体制の一部を修正した。
- ・必要経費は、旅費交通費を減額、資料費と調査費を増額した。
- ・研究内容説明は、APFIS2012の一部として FRP 複合構造に取り組む関係各国とのワークショップの開催を追記した。

(6) 複合標準示方書の改訂について（資料 幹 11-5-1, 11-5-2）

古市幹事長より、複合構造標準示方書の改訂について報告がなされた。主な報告内容は以下のとおり。

- ・前小委員会からの申し送り事項は、定期的な更新、英語版の作成、海外へのPR、施工・維持管理に関する内容充実、新材料による複合構造への適用拡大、常時の質問への対応などである。
- ・改訂時期は、2014年の予定である。
- ・改訂内容は、①設計編の深度化、②施工編の制定、③維持管理編の制定などである。
- ・来年度、改訂のための小委員会を設立する予定である。この小委員会の委員長候補 中島章典教授、幹事長候補 渡辺忠朋氏を幹事会として推薦する。

(7) 全国大会研究討論会企画について

横田委員長より、研究討論会の応募締め切りは3月22日であるため、早急に幹事会で応募内容を検討する旨の説明があった。主な報告内容は以下のとおり。

- ・『接合』や『接着』をキーワードとするのであれば、ずれ止め小委員会や樹脂材料小委員会を中心に検討する。この場合の担当者候補は、大垣幹事とする。

(8) 出版関連（資料 幹 11-7）

古市幹事長より、現時点での出版図書販売状況について報告がなされた。

(9) 小委員会関連報告（資料 幹 11-8-0）

複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（H103）

大山幹事より、小委員会の活動状況について出版原稿の作成が遅延している旨の報告がなされた。

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会（H206）

渡辺幹事より、第9回複合・合成構造シンポジウムで小委員会の成果を報告するが、その方法について、シンポ小委員会から指示を頂きたい旨の依頼があった。

樹脂材料による複合技術研究小委員会（H207）

大垣幹事より、成果報告書の目次案は次回幹事会に提出する旨の報告がなされた。樹脂の性能の試験方法についても、報告書に取り入れる予定である。

FRPと鋼の接合方法に関する調査研究小委員会（H211）

大垣幹事より、小委員会の活動状況について1月24日に第1回委員会を開催した旨の報告がなされた。

(10) 次年度以降の委員会活動について

横田委員長より、次年度以降の委員会活動の方針について意見を交換したい旨、説明があった。主な内容は以下のとおり。

- ・外部機関からの受託研究の可能性や是非は、今後、十分に検討する必要がある。

- ・現状はFRP関連の小委員会が大勢を占めているが、鋼とコンクリートも含めた複合構造に関する調査研究の充実も図りたい。例えば、鋼・コンクリート合成版のせん断耐力の算定法などは、現状のものは不十分であるといえる。
- ・講習会などの参加者数の増加に、幹事会として努める必要がある。

以上（記録・文責 山口）